

浦尻の塩田開発を行った小八木兵左衛門道治

生涯学習課市史編さん室 吉本工心

(1) 浦尻の製塩事業

清水浦における本格的な製塩事業は、キサガタ入江(現在の中心市街地の東に存在)で藩営の製塩を実施していた(1782~)。しかし、それ以前にも製塩事業が試みられたことがあったことは意外に知られていない。キサガタの製塩から 100 年前、浦尻で行われた製塩事業である^①。

この浦尻の地に開拓の可能性を見出したのは、小八木兵左衛門道治(1616~1696)という土佐藩士だった。彼は藩主の足摺参詣に同行した折、道中、浦尻の景観から塩浜が形成できると洞察した。藩主にこの事業案を上申したところ、承認され、家族家来を引き連れて浦尻に住した。これが天和 3 年(1683)のことである。つつみ、石垣を築き、播州から塩焼きの技術者を招いて事業が開始された。しかし、塩の出来は芳しくなかったようである。そこでここを田地に作り変えることにしたが、折悪く大波があつて石垣等が被害に遭った。それがもとで事業は中止となってしまった^②。

その後、小八木道治は元禄 7 年(1694)在番のため中村へ戻るが、すでに 78 歳の老齢であったため職を辞した。翌年、息子の信左衛門常治夫婦とともに、再び浦尻に住み、元禄 9 年(1696)ここで没している^③。行年 81 歳。晩年は田地開発と眼疾治療^④を老後の楽しみとした。

(2) 道治の父・小八木八右衛門勝治

道治の父、小八木八右衛門勝治は摂津国(大阪府)の浪人であった。山内康豊土佐入国の際、お供船に乗船して土佐に入った。船中で康豊(藩祖一豊の弟)に謁見し、召抱えられている。中村に居住し、後に渭南、三原の代官を勤め、三原郷大駄場、中筋郷江ノ村の田地開発事業を行った。このとき道治は父勝治とともに開発計画に携わった^⑤。勝治の死後、道治が代官役を後継している。

(3) 小八木神社

以上のことから、道治は浦尻にもともと縁があつたのではない。にもかかわらず、舞い戻るように浦尻で晩年を過ごしたのには、塩田事業が失敗した負い目があつたのか、それともこの地によほどの愛着を抱いていたのか。

道治の墓は現在、浦尻の神社に隣接して建てられている。この神社を「小八木神社」といい、眼の神様であるという^⑥。地元の人々の道治に対する信頼の篤さがうかがえる。

また名も知られていたようで、種々の寄進の銘には三崎、以布利、窪津、中浜、清水と土佐清水市各地の名がみえる。

(3) 曾根十兵衛の墓

当地には、道治の墓のほか6基の墓と五輪塔の残欠が残っている。うち小八木氏の墓は4基であり、3基は曾根氏の墓である。その1基から俗名を読むと「曾根氏十兵衛」とある。



(左) 曾根氏の墓
(下右) 曾根十兵衛の墓 表面
(下左) 曾根十兵衛の墓 裏面



表 寶永五戊子年
歸空願室浄本信士尊儀
九月十八日

裏 幡多郡之内入野村
曾根氏十兵衛尉
行歳七拾一入口 柿内市良兵衛
造立之

没年と行年によれば寛永 15 年（1638）に生まれたようである。浦尻の塩田開発の頃は曾根十兵衛 45 歳である。しかし関係は分からない。

曾根家は江戸時代初期頃～中期まで続いた幡多郡入野の大庄屋である^⑦。なぜ入野の人物が小八木氏の墓と並んで浦尻にあるのか、疑問が残る。

註

- ① 土佐清水市史編纂委員会編『土佐清水市史 上巻』土佐清水市、1980 年、581 頁
- ② 『三原村史』三原村教育委員会、1971 年、1073 頁
- ③ ②に同じ。1073～1074 頁
- ④ 道治は若年期に家里流眼療の秘伝を伝授されている。伝授には師事する市原某が土佐出国のとき、伊予まで追いかけていき願い出た。このときの道治の執念に打たれた市原は伝授の願いを聞き入れたという（『三原村史』1971 より）。
- ⑤ ②に同じ。1072 頁。
- ⑥ 山本泰三『土佐の墓 その四』土佐史談会 1991、295 頁による。昭和～平成の寄進物をみると「大漁祈願」「還暦の祝い」「祈願成就」等とあり、祈願や感謝の理由は眼に限らないようである。
- ⑦ 大方町史改訂編纂委員会編『大方町史』大方町、1994 年、278 頁

【編集後記】

東近編集副委員長も先日、「第二章古代・24 頁」と「第三章中世の担当執筆範囲・83 頁分」が原稿提出された。また、出原編集委員の「第一章考古」が提出され、画像を詰めてびっしりと 60 頁はある。8 月 3 日には谷岡編集委員から「第九章学校教育史」の原稿が提出される予定である。このように次々と原稿が寄せられている。

株式会社ぎょうせい・市史編さん室間で協議し「**執筆・編集細則**」を改訂しました。つきましては編集委員各氏に細則を送付します。ご確認ください。

俳人細木大三郎について **8 月 21 日（土）23:00～24:00NHK 教育テレビで放送**されるようです。選ばれた 6 人の俳人の中の 1 人として 10 分程度特集がある予定です。どうぞご覧ください。

東京五輪の熱戦が展開されていますが、コロナウイルスが拡大してその盛り上がりにも影を落としています。私事二度目のコロナ予防接種を先日 27 日に無事終えることができました。熱や体調不良もなく終えることができ、ホッとしています。インフルエンザと違い、このような炎天でも拡大するコロナウイルス、油断なく、注意する必要があります。また、先日、熱中症対策について本便りで触れましたが、これも心配です。健康で充実した夏をお過ごしください。ご自愛を。（田村）